

中津市民病院新病棟・リハビリ棟の竣工について

かねてより建設しておりました中津市民病院新病棟及びリハビリ棟が完成し、この度竣工式を執り行う運びとなりました。竣工式では、関係者約 120 人を招待し、完成したばかりのリハビリ棟で式典及びテープカットを行う予定です。また、式典終了後に内覧会を行う予定です。

【竣工式】

日時 : 平成 31 年 3 月 10 日 (日) 午前 10 時 00 分
場所 : 中津市民病院 (中津市大字下池永 173 番地)

1. 経緯

中津市民病院は、平成 12 年に旧国立中津病院から移譲を受け、その後平成 24 年に現在の病院へ新築移転しました。当院は、大分県北地域から福岡県東部の京築地域に広がる 24 万人医療圏において唯一の公的中核病院であり、大分県の地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、地域周産期母子医療センターであります。また、平成 29 年 4 月に組織改編を行い別組織となった中津市立小児救急センターも隣接しています。このような状況下で、さらなる病院機能の充実を図るため、平成 29 年 10 月から中津市民病院新病棟・リハビリ棟増築工事に着手し、平成 31 年 1 月に工事が完了いたしました。新病棟においては、効率的な病床管理を行うとともに、がん患者を対象とした緩和ケアセンターを設置しました。また、リハビリ棟においては、手術後の急性期のリハビリ診療の充実を図るため整備を進め、早期の回復を目指します。このように、医療体制の充実を図ることで、地域のみなさまの医療の安心づくりに努めます。

なお、供用開始は、リハビリ棟が 3 月中旬、新病棟が 4 月を予定しています。

2. 施設概要

- 施設の名称 : 中津市民病院 新病棟・リハビリ棟
- 所在地 : 中津市大字下池永 173 番地 (敷地面積 33,142.73 m²)
- 建築構造 : RC 造 2 階建、耐震構造
(延床面積 新病棟 2,110.61 m² リハビリ棟 1,162.66 m²)

【新病棟】

- (1 階) 緩和ケア病床 (個室)・家族室・カンファレンス室・スタッフステーション・面談室・多目的室・デイルーム・浴室・機械室・宿直室・リラックスルーム
- (2 階) 一般病床 (個室)・スタッフステーション・診察処置室・デイルーム・浴室・カンファレンス室・化学療法センター・スタッフ休憩室

【リハビリ棟】

- (1 階) 診察室・リハビリセンター・スタッフ室・言語聴覚室・多目的室
- (2 階) 多目的ホール・スタッフルウンジ・図書室・倉庫

3. 特徴

新病棟は、がん患者とそのご家族が、心や身体のつらさをできる限りやわらげ、その人らしく穏やかに過ごすことができるように、緩和ケア病棟を開設し、地域がん診療連携拠点病院としての医療機能を強化します。リハビリ棟は、従来あったリハビリスペースの移転拡大を行い、急性期から入院患者の早期のリハビリ治療を行い、在宅復帰に向けた十分な医療提供を行います。また、多目的ホールは、当院の診療に関する現状や取り組みなどを知っていただくため、市民向け公開講座などの開催はもとより、災害時には、指定医療である災害拠点病院としての役割を果たすため、患者受入場所として利用できます。

4. 工事概要

- 総事業費： 約19億9,250万円
- (内訳)
- 建物本体工事： 約 18億700万円
- 植栽・外構工事： 約 1,350万円
- 医療機器・備品購入費：約 4,900万円
- 設計・監理委託料： 約1億2,300万円
- 事業年度： 平成28年度～平成30年度
- 事業経過：
- 平成28年 7月 基本実施設計着手
- 平成29年 6月 基本実施設計完了
- 平成29年10月 建物本体工事着手
- 平成31年 1月 建物本体工事完了

(新病棟)



(リハビリ棟)



【問合せ先】

病院建設準備室 担当：末吉
TEL：0979-22-2480（内線7504）